

一般質問通告一覧表

令和6年第3回定例会

(全て 一問一答)

質問者	質問事項	質問の要旨
大里 武智	(1) 農地の現状と課題について ①	・岬町内の太陽光発電施設の現状と計画、そして今後の課題
	(2) 農地の現状と課題について ②	・今年の有害鳥獣の状況と課題。また今後の取り組みについて
	(3) 小・中学校の特色ある取り組み	・各小学校・中学校の特色ある取り組みや行事について
瀧見 明彦	(1) 岬町における令和5年度財政状況について	・令和5年度決算における岬町の健全化判断比率について ・令和5年度決算における岬町の経常収支比率について ・今後の取組みについて
谷崎 整史	(1) 私有地危険箇所への助成措置	私有地について、崖地、擁壁の劣化など危険箇所について、所管外とするのではなく、町として適切な指導助成の方法を確立すべき。 所有者責任において、管理できるよう、町の機関としての指導と資金助成を行えるよう検討を進めるべきである。
	(2) 公共下水道区域外の集中下水処理	R3/3、/6、またR6/3定例で質したが、公共下水道区域外での整備について、R6/3地域を定め集中処理、合併処理の検討を進めるとされたが、過疎法適用など予算化と検討状況はどうか。
	(3) 自治体ワーケーション協議会	長野県和歌山県呼びかけのワーケーション自治体協議会や総務省、観光庁によるテレワーク・ワーケーション官民推進協議会など、参画を検討すべき。町の立地位置から、関係人口、交流人口を活用した、業務・居住施設の提供と増大は、「建物固定資産税の販売」や「購買力の集積」に効果がある。取り組みはどうか。
道工 晴久	(1) 農業公園計画について	・現在迄計画がどこまで進んでいるのか？ ・今後の年次計画をどう考えているのか？
	(2) 学童保育について	・現在の利用状況は？ ・利用教室の広さについて ・登録条件はどうなっているのか？
奥野 学	(1) 令和5年度一般会計決算を迎えて	①令和5年度一般会計決算の概略説明を求めます。 ②令和元年度～5年度間の財政・基金収支の進移の説明を求めます。 ③多岐にわたる住民サービスに答えるため、事業費予算を削除することは難しいと考えますが、来年度令和7年度予算編成・立案に対する方針・対策はどのように考えているのか？ ④来年度令和7年度4月に町制施行70周年記念式典及び周年記念事業が予定されているがどのような計画をしているのか説明を求めます。
		⑤最重要課題である ・本庁舎建て替え ・新たなみさき公園の早期着工 ・関西電力第二発電所跡地への企業誘致 上記3点につきどの様に進めていくのか？

9月3日

質問者		質問事項	質問の要旨
9月3日	坂原 正勝	(1) 運転免許証返納者支援について	・運転免許証返納者数は？ ・運転免許証返納者支援制度を導入してはどうか？
		(2) がん予防について	・子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種の現状を問う！
		(3) 財政の健全運営について	・過去3年間の一般財源の推移は？ ・基金の推移は？ ・公共施設の適正管理について問う！
	早川 良	(1) コンビニ交付の導入後について	・証明書のコンビニ交付導入後の利用状況とみさき公園駅前の証明書発行コーナーの今後の在り方について問う
	中原 晶	(1) 「マイナ保険証」について	今年12月2日から、新たな保険証が発行されなくなることから、12月から現在の保険証が使えなくなる(病院にかかれなくなる)との誤解を生むような「宣伝」が政府によってなされている。岬町として適切な対応が必要ではないかと考える。 ①岬町の国民健康保険や大阪府後期高齢者医療保険に加入している方々の数と、マイナ保険証の保有者数(マイナンバーカードに医療資格を紐づけている方々の数)・割合、医療機関での利用率は？ ②保険証の有効期限が切れた後は「資格確認書」が自動的に送られるとのことで、それが保険証代わりになるが、確実に対象者全員に送られるのか？ ③マイナ保険証をあわてて作る必要はないことや受診の権利が守られることなどについて、徹底した周知が必要ではないか？
		(2) 岬町シルバー人材センターの健全な運営のために	①前回(6月議会)の質問時、パッカー車の不正利用を明確に認めたが、岬町に与えた損害については精査中だった。総額いくらの不正利用があったのか、またその後の対応は？ ②元事務局長の給与が増額されたようだが、その経過が適正であったか？また適正でなかった場合、シルバーとしての今後の対応は？

	質問者	質問事項	質問の要旨
9月4日	谷地 泰平	(1) こどもまんなか社会の実現に向けて	- これまで政策実施にあたってこどもへの意見聴取を行ったことはあるか？ - 岬町において、こどもの意見を聞くべき「こども政策」にはどのようなものがあるか？ - こどもの遊び場、居場所づくりの推進にあたってこどもの意見を聞くべきでは？ - 今後の町立小中学校のあり方について、こども・保護者といった当事者の意見を聞くべきでは？
		(2) 子どもの読書活動推進について	- 子ども読書活動推進計画の全国、大阪府、岬町の策定状況は？ - 子どもの読書活動推進の取り組み、読書環境整備の状況は？ - 町内の保育所、幼稚園に定期的に絵本セットの配達を行っているかどうか？
	松尾 匡	(1) 有事に備えた確度の高い町行政の業務継続計画(BCP)と、住民への周知について	「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意報)」が8月15日まで発令されていました。 大規模災害が起きる前に、被災時を想定し1日でも早く人命救助や町の復旧等が可能となるような町の業務継続計画がなされているのか。またそれが「想定外」が起きにくいほど想定されたもの、確度の高いものになっているのか、検証します。 また、現在岬町では防災マップを発行し各戸に配布を行うなどしていますが、万が一の備えと被災時を想定した行動確認など、もっと踏み込んだ住民への注意喚起と避難対策など普段から行っていくべきではないのか、検証します。
		(2) 町立学校園の今後の展望について	昨年度、淡輪幼稚園のあり方検討委員会が設置され、2回の委員会が行われた後、今年度も継続して運営が行われています。 年々人数が減少傾向にある「こどもたち」にとってより良い教育環境とはなんなのか。 今後幼稚園のみならず、小中学校の運営をどうしていくのか、検証します。